

# ことうの女性



▶木場在住 住田さん

## まだまだ男性優遇？

### 男女共同参画に関する意識実態調査の結果まとまる

区では、平成23年度からの新たな男女共同参画プラン（第5次行動計画）策定のための基礎資料とするため、昨年10月9日から10月30日まで「男女共同参画に関する意識実態調査」を区民と区内企業（事業所）に対して実施しました。  
このたび調査結果がまとまりましたので、その概要をお知らせします。ご協力いただきありがとうございました。

#### 調査対象・調査方法

区民調査では、区内在住の満20歳以上の男女2,000人を無作為抽出しました。

区内企業（事業所）調査では、従業員20人以上の企業（事業所）1,000カ所を無作為に抽出しました（回答いただいた時点において20人以下となっている場合もあります）。  
いずれも、調査票を郵送配布・郵送回収しました。

#### 主な調査項目

○区民調査  
男女平等意識、子育て、家庭や暮らし、仕事、配偶者

等からの暴力、地域活動、区の施策など。

○企業（事業所）調査  
職場における男女共同参画推進、育児や介護への支援、ワーク・ライフ・バランス（注）、区の施策など。

#### 集計結果

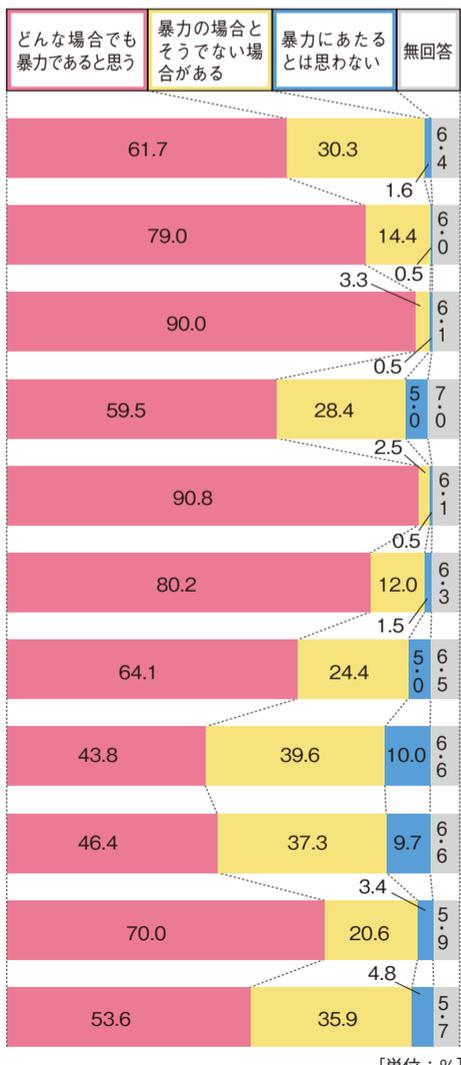
有効回答数（回収率）は、区民調査で911人（45.6%）、区内企業（事業所）調査で304カ所（30.4%）でした。

#### ドメスティック・バイオレンスに対する認識

#### 区民Q

あなたは、配偶者や恋人などから次の項目にあたるような行為をされたときに、それが暴力だと思えますか

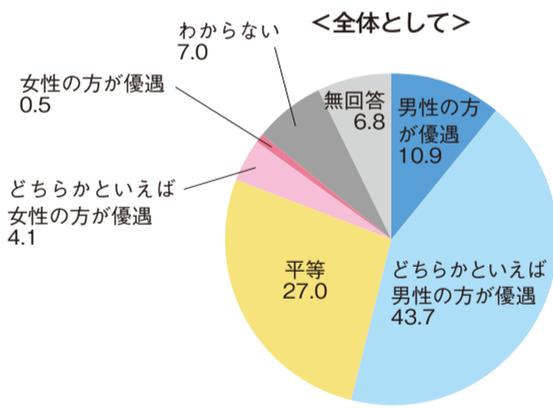
殴るなどの身体的暴力に比べて、長期間無視し続けるなどの精神的暴力への認識が低いものとなっています。



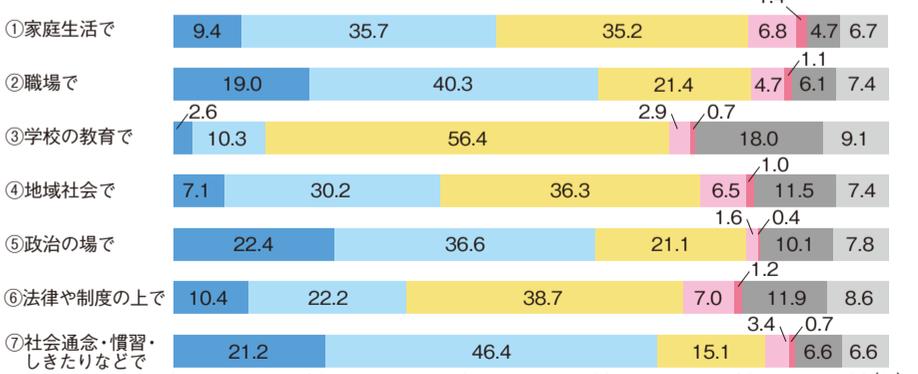
#### 区民Q

あなたは、次の各項目について、一般的にみて男女の地位は平等となっていると思いますか

#### 男女の地位の平等感



#### <項目別> [単位：%]



男女の地位の平等感については、多くの項目で前回調査（平成12年実施）と比べて男性優遇と感じている割合は、低くなっていますが、依然として、「家庭生活」については4割以上、「職場」については6割弱、「社会通念・慣習・しきたりなど」については7割弱が男性優遇と感じています。

注 ワーク・ライフ・バランスとは、「仕事」と「仕事以外の活動（子育てや地域活動など）」を組み合わせ、バランスのとれた働き方を選択できるようにすることです。